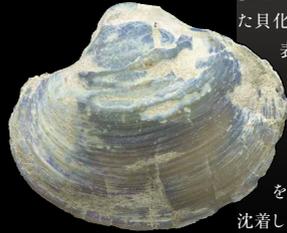


02-3.4

## オパール

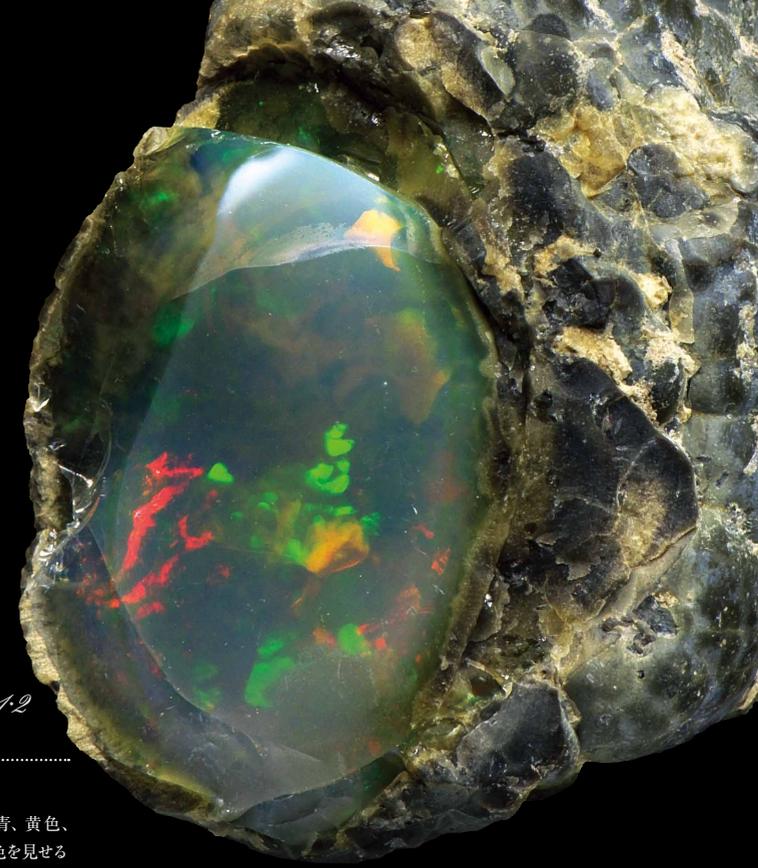
[上/02-3] オパール化した貝化石。二枚貝の貝殻表面の輪筋が鮮明に見えることから、炭酸カルシウムの殻が選択的に溶解した後に、その空間を埋めてオパールが沈着したことがわかります。

- オーストラリア産
- 左右長4.2cm
- GSJ M21395



[下/02-4] 灰色の盛り上がり方がオパール質の沈殿物、珪華です。シリカに飽和した沸騰泉が間欠的に噴き出すところでは、珪華の成長速度が速くなります。シリカの供給と水の蒸発が交互に起きるためです。

- 米国ワイオミング州イエローストン国立公園



02-1.2

## オパール

[上/02-1] 緑、青、黄色、赤の鮮やかな遊色を見せるプリンヤスオパール(貴蛋白石)。透明なため、内部深くで揺らめく色彩の炎が見とれます。

- 福島県西会津郡宝坂産
- 径約4cm
- GSJ M 16618

[下/02-2] 流紋岩中の球類の空隙を満たして産出したコモンオパール。空隙の形状は算盤玉状であることが多く見られます。ほとんどのオパールは濁った白色を示しますが、一部に透明感に優れた部分もあります。

- 福島県西会津郡宝坂産
- 左右長6cm
- GSJ M26254

